



9月9日(月)、本年度の第4回学校経営協議会が開催されました。今回は、2学期はじめの児童の様子や体育館に新設されたエアコン、来年度の教育課程について協議会内で共有し、教育活動の更なる充実に向けて熟議をおこないました。



○熟議の主な内容○

- ・学力向上の取組について ・来年度の教育課程について ・プロジェクト・チームについて

広げよう。学びの輪。

- ・7月のお話の森は、去年より人数が増えていた。→来年度は、例えば図書委員がお話の森について紹介したり、当日の読み手となったりするなど、子どもたちや保護者にもプロジェクトへの参加を募ることにより、更に活動の輪を広げていきたい。
・「何が」「どうして」「どうなった」を分かりやすく説明する力の育みなど、今年度の学力調査の結果も踏まえ、今後のプロジェクトの内容を考えていきたい。家庭学習の充実など家庭にも積極的に協力を呼び掛けていく。
→1日に5分間でもいいので、親子で話をする時間を意識的に設けるなど、単に学習を見守るよりも効果が期待できる取組も検討していく。
・前回に引き続き、ステップ教室の在り方については参加者の確保や効果検証などについて検討していく。

育てよう。心の芽。

- ・スタッフが児童の気持ちに寄り添い、一時的な「居場所」としての場である「つなぐルーム(仮)」の運営について引き続き検討していく。
→10月以降の試行を目指し、曜日の選定などに取り組んでいく。ただし、人材確保はやはり難しく、児童に寄り添える方を引き続き探していく。

みんなで協力。助け合おう。

- ・最近の社会情勢を考慮し、学区内の「こども110番の家」を増やしていきたい。また、帰宅時刻の目安を伝えるために小平市が実施している「愛のチャイム(10月~3月は夕方16:30)」が鳴ってからも、外にいる子を見かけるので、学校と地域が連携して安全確保について声をかけていく。
・「学校のことをもっと知りたい」という、家庭や地域の要望に応えるために、学校HPなどの内容充実を図る。



広げよう、読書の世界

今年のおすすめポイント：国語の教科書に掲載されているお話

上宿小CS委員 上宿図書館長

1年 「くじらぐも」 『いやいやえん』

中川 李枝子/作 大村 百合子/絵 子どもの本研究会/編集 出版社：福音館書店 出版年月：1962年

「くじらぐも」の作者は、「ぐりとぐら」シリーズでおなじみの中川李枝子さんです。『いやいやえん』の挿絵も「ぐりとぐら」シリーズの大村(山脇)百合子さんです。絵本とはまた少し違う物語の世界を楽しんでみるのはいかがでしょうか。『いやいやえん』の他にも、『たんたのたんけん』や『こぎつねコンチ』など、お二人のコンビによるすてきな物語があるので、図書館でぜひ探してみてください。

2年 「お手紙」 『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル/作 三木 卓/訳 出版社：文化出版局 出版年月：1972年

がまくんとかえるくんの物語はたくさんあります。「おてがみ」が載っている『ふたりはともだち』にも、他に4つのお話があります。とても長く読み継がれている本で、上宿図書館にある本はなんと第193刷！！他にも、教科書に掲載されている「おちば」が載っている『ふたりはいつも』など、がまくんとかえるくんのほっこりやさしいシリーズは何冊もあるので、お気に入りのお話を見つけてみるのはいかがでしょうか。

★今年度は国語の教科書に出てくるお話に関連する本を紹介していきます。その学年でなくても、興味がわいたら保護者の方も一緒に、ぜひ図書館で借りて読んでみてください。

